

例会報告：2014年11月11日（曇り）第1866回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2014年11月11日 12:30～13:30

❖ 会長挨拶



齋藤 永 会長

みなさんこんにちは、少し寒さを感じる季節になりました。お体の調子はいかがですか？

健康には十分ご注意ください。健康といえば先週、木村頼広さんの病院に幹事と二人でお見舞いに行ってきました。木村さんは個室に座っており、とても元気に対応してくれました。まだ少し痛みはあるようですが、(みなさんが来てくれると、とてもうれしく元気がもらえる)と話しておりました。お時間のある方は元気づけに顔を出してやつてくだされば幸いです。

話は変わりまして、週末に絆友会の新会員入会式兼懇親会に参加してまいりました。ローターアクトの剣持会長と絆友会の藤沢会長と私と三会長そろうのはめったにないからと写真を撮られました。私は初めて参加して、当クラブが提唱する小田原城北ローターアクトクラブを30歳で卒業された方たちの在籍中に得た仲間・知識や思いをいつまでの継続しつつ、なんだかの形でつながっていけるサークルがこの絆友会だと確信いたしました。若さゆえの行動力やエネルギーが満ち溢れており、今後の私達ロータリーの会員になっていただく要素は十二分にあるとさらに確信いたしました。私も実際にエネルギーをいただきました。今後の活躍をご期待申し上げたいと思います。

先日は会員増強委員会の上田委員長と二人で地区の会員退会防止セミナーに参加してまいりました。内容は退会防止というより終始Eクラブの説明ばかりで終わりました。少し拍子抜けした感じでした。

本日もよろしく願いいたします。

❖ 幹事報告



大川 久弥 幹事

1)今年もクラブではインフルエンザの予防接種は行いませんので、各自で接種するなどして、健康には十分留意して頂きますようお願い致します。

2)当クラブから青少年交換学生としてロシアに派遣されている諏訪間亮君ですが、ビザの更新の為12月の初めに一時帰国するようです。その際派遣先のマガダンロータリークラブの方も随行して来日される様ですので、例会に出席された場合にはご対応をお願い致します。

❖ 出席報告

小川 和夫 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
11月11日	51(47)	37	3	85.11%
11月4日	51(46)	40	1	89.13%
10月28日	50(46)	37	3	86.96%

【欠席者】 10名
 石崎 孝、杉崎 勝成、石内 正彦、志澤 昌彦、大野 英明、大川 誠、太田 忠、上田 博和、一寸木 信雄、木村 頼弘（休会）

【今回MU】 3名
 石崎 孝（10/30 地区研修委員会）
 杉崎 勝成（11/6 地区米山奨学会）
 上田 博和（11/5 地区会員増強セミナー）

【前回MU】 増加なし
 【前々回MU】 増加なし

❖ 卓話

「アクト人生と私」



小田原城北ローターアクトクラブ会長 鋤持 万起子 様

今回の卓話は「趣味でもお稽古ごとについてでも何でもいいよ」と仰っていただきましたが、やはり7年間アクトで学んだことや感じたことをお伝えしたいと思います。感謝の気持ちをじっくり述べる機会は初めてなので、自分の思いが伝わるようにまとめてきました。

まず私のプロフィールです。1983年8月23日生まれ、富水幼稚園と函嶺白百合学園・小中高を卒業し、日本大学生物資源科学部で学びました。その後3年間会社勤めをし、現在は父が経営している会社で働いております。生粋の小田原っ子で、趣味はチェロ、茶道、小田原の良いところ探し。アクトを経験して地元愛が強まったと思います。

クラブの結成は1995年4月4日、RI加盟認証日は4月25日です。18～30歳を対象に奉仕を志向する市民・指導者を育成するためロータリークラブが提唱する世界的な団体で、通常例会会場は川東タウンセンター・マロニエです。今年度のクラブターゲットは「和」。もてなしや思いやり、礼儀を重んじ目上の人を敬う和の心は、私たちの生活の中に自然に存在しています。アクト人生を通じて感じた、他の国にはない日本の文化・風習・習慣・精神を日本人の美德と捉えて大切にしていきたいと思っています。支えてくださった皆様に感謝し、和の心を持ってアクトメンバーで活動していきたいです。



入会のきっかけは2007年に元ロータリアンの父に誘われ忘年会に出席したことです。最初の印象は楽しそうな団体・自己研鑽ができそうなところ、という

ぼんやりとしたものでした。当時の会長には今でも助けられています。

クラブの活動です。社会奉仕には小田原駅前商店街清掃・公園整備・献血の呼び込み・地元のお祭りやイベントの参加などがあります。国際奉仕ではAPRRC（アジア環太平洋国際会議）を2016年日本誘致の計画がされています。専門知識開発は講演会や卓話をしており、クラブ奉仕としてはキャンプやバーベキュー・忘年会・他クラブとの合同例会などを企画しています。財務ではフリーマーケットでお金を調達しています。他にもRCの活動でロータリーファミリーの若い方々と接する機会もあり、とても刺激を受けました。留学生の方々との出会いも貴重な経験でした。

APRRCでの出会い。私は2010年のシドニーと2011年のフィリピンに参加しました。ローターアクトというだけで言葉が通じなくてもたくさんの人と知り合うことができました。私は元々消極的な人間だったのですが、人というのは優しいものだ、受け入れてもらえる、と感じられました。APRRCの体験は衝撃的なものでした。日本の文化に対する注目度がとても高く、漫画やアニメは世界共通語になっています。着物や浴衣も人気があり、武士社会に興味のある人も多かったです。日本にいると気付かなかった日本の良さを再認識できました。人は言葉でなく気持ちで繋がれると感じた反面、会話の大切さも身に染みしました。英会話も勉強したいと思っています。またここでは、リーダーシップ力、自分の意見を主張する力、イベント企画力を向上できたと思います。メーキャップについて。他のクラブやRCでメーキャップをさせていただくことで仲間との繋がりを大切にしたい気持ち、協力しあい助けあう気持ちを強く持つことができたと感じています。

ローターアクトに入っていないとできない貴重な経験をたくさんの人に味わってもらいたい。昨年度は会員を1人も増やすことができませんでした。今年度は絶対会員増強をしてみせます。そのためにインターアクトとの繋がりを強化します。相洋高校で卓話をさせていただいたり、立花学園との合同例会の話も出ています。インターアクトの年次大会にも参加して繋がりを強化していくつもりです。また、メーキャップで他のRCに参加し、ローターアクトのPRをしたいと思っています。会員増強のため「ビジターが参加しやすい例会」も考えています。一番入りやすいボランティアの駅前清掃活動をやる予定で、記事に取り上げてもらうためタウンニュースをお願いしているところです。2015年6月30日、今年度が終わる日までに、会員を8名から16名にします！そう宣言させていただきます。大きな野望ですがご協力をお願いいたします。最後に感謝の言葉を。「紅炉一点雪（こうろいつてんのゆき）」という禅語があります。「炎の上の雪がすぐに溶けてしまうこと」で、私自身そのように儚いちっぽけな存在ですが、少しでも何かの役に立ちたいと願って日々過ごしています。アクトでの経験は一生忘れられません。ありがとうございました。

